

令和7年度 第2回

まちづくりミーティング

馬場、浅野町、森山、小坂、千坂、夕日寺 校下（地区）

日時 令和7年7月28日（月） 18時30分から

場所 元町福祉健康センター 2階 もとまちホール

本日は、お忙しい中をご参加いただき、誠にありがとうございます。
進行は次のとおりですので、よろしくお願いいたします。

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 地域代表あいさつ
- 4 進行の説明等
- 5 地域課題について
- 6 共通課題について
- 7 質疑応答、意見交換
- 8 市長まとめ
- 9 閉会

金沢市市民協働推進課

TEL 220-2026 FAX 260-1178

提出課題一覧

1 地域課題

番号	地域課題	頁
1	「向こう三軒両隣」の思いを大切に、安心・安全で 楽しいまちづくりについて (馬場地区町会連合会)	P. 2 P. 3
2	複合施設の整備及びその周辺環境の課題解決について (浅野町校下連合町会)	P. 4 P. 5
3	卯辰山麓寺院群へのアクセス道路について (森山校下町会連合会)	P. 6 P. 7
4	小坂校下の防災対策とまちづくりについて (小坂校下町会連合会)	P. 8 P. 9
5	地域団体と公民館について (千坂校下町会連合会)	P. 10 P. 11
6	用途地域の変更について (夕日寺校下町会連合会)	P. 12 P. 13

2 共通課題

番号	共通課題	頁
1	城北地区に大型複合施設（図書館）の建設を	P. 14 P. 15

地域課題 1

町会連合会名	馬 場 地 区 町 会 連 合 会
地域課題	「向こう三軒両隣」の思いを大切に、安心・安全で楽しいまちづくりについて
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化による地域活動の停滞化加速の懸念 少子化率（0歳～14歳人口 6. 1%） 高齢化率（65歳以上 46. 1%）（令和6年3月現在） ※共に市内中心地域では、最高数値で年々高率化 ・ 山側地区の観光客急増による、居住環境の悪化 （海外よりの観光客の増加）
地域が考える 対応策・解決策 ／協議したい事項	<p>「向こう三軒両隣」の思いを大切に、地域の連帯を深めるためにも、市には、（安全・安心で楽しいまちづくりや）地域コミュニティの活動等に対し、一層の力添えを願いたい、考えをお聞かせください。</p>

市の方針等説明書（地域課題 1）

地域課題	「向こう三軒両隣」の思いを大切に、安心・安全で楽しいまちづくりについて
協議事項	「向こう三軒両隣」の思いを大切に、地域の連帯を深めるためにも、市には、（安全・安心で楽しいまちづくりや）地域コミュニティの活動等に対し、一層の力添えを願いたい、考えをお聞かせください。
市の方針等	<p>地域コミュニティを活性化していくためには、市民が地域に愛着を持ち、現役世代や若者、市民団体などが地域活動や地域課題の解決に参加していただき、活動の持続可能性を高めていくことが大切です。</p> <p>そのためには、地域活動におけるデジタル化の推進や町会活動や公民館活動、子ども会や婦人会など様々な団体の連携により市民の方が参加しやすい環境をつくることで、地域コミュニティ活動の活性化に繋がっていくと考えています。</p> <p>本市では、校下内の地域団体等の連携事業や町会加入の促進、住民の交流を図るための事業に対する助成をはじめ、防災情報等を共有する、電子回覧板「結ネット」の導入に対して、その補助に加え、活用事例を紹介する説明会やミニ講座等を行い、導入する地域を増やしていきたいと考えています。</p> <p>各地域では、町会活動、公民館活動、夏祭りや文化祭、防災活動など、多くの行事があります。多くの方が参加することで、地域の絆が深まっていきます。今後とも、皆さんの御意見をお聞きしながら、市としてどんなサポートができるのか、できるだけお声に応える形で取り組んでいきたいと思っています。</p>
担当課	<div>市民局 市民協働推進課</div> <div style="text-align: right;">電話 220-2026</div>

地域課題 2

町会連合会名	浅野町校下連合町会
地域課題	複合施設の整備及びその周辺環境の課題解決について
現状と課題	<p>現在の公民館は耐用年数が令和11年（2029年）、児童館は令和17年（2035年）となっている。各施設の底地は、企業局や緑と花の課が所管しているなどの実情がある。</p> <p>施設の老朽化や分散により利便性の低下も激しいことから、複合施設の建設を検討している。建設用地については、地域で確保できるよう話し合っているが、建設事業費の高騰、地元の負担増、加えて防災拠点機能の付与や、近隣への環境対策などが課題となっております。</p>
地域が考える 対応策・解決策 ／協議したい事項	<p>今後の見込まれる建設事業費の高騰に対し、地域の負担を最小限に抑えたい。また、新たな施設に防災用具を備えることで、近隣校下との災害対策の連携も可能となると思う。</p> <p>整備においては、近隣への配慮と周辺施設の改修・機能強化があわせて必要となってくると考えており、市と調整を進めて行きたいが、市のお考えをお聞かせください。</p>

市の方針等説明書（地域課題 2）

地域課題	複合施設の整備及びその周辺環境の課題解決について		
協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の見込まれる建設事業費の高騰に対し、地域の負担を最小限に抑えたい。 ・ 新たな施設に防災用具を備えることで、近隣校下との災害対策の連携も可能となる。 ・ 整備においては、近隣への配慮と周辺施設の改修・機能強化が合あわせて必要となってくると考えており、市と調整を進めて行きたいが、市の考えを伺う。 		
市の方針等	<p>今年度から、公民館、児童館などの新設等の施設整備にかかる地元負担の割合を1／4から1／5へ引き下げるとともに、新たに、施設解体や長寿命化にかかる経費について、全額、市が負担することとしました。</p> <p>建設が具体化した際には、建設事業費の物価高騰対策について、施設規模や、整備内容・使用材料等の検討を含め、ご相談させていただきたいと思っております。</p> <p>地区公民館は、社会教育施設としての機能のほか、地域コミュニティの中心として、地域の自主性や連帯意識の醸成に大きな役割を果たしており、また、地区児童館は、子育て支援を行う拠点施設として、地域における児童健全育成に大きく寄与しております。</p> <p>こうした機能を併せ持つ複合施設として、これまでも、建設計画についてのご相談をお受けしているところですが、今後も引き続き、近隣住民への配慮をはじめ、周辺施設との関係性も含め、地域の方々のご意見を伺いつつ、必要な協力をしていきたいと考えています。</p> <p>なお、防災用具の備蓄については、災害時に地域の防災活動や避難生活の拠点となる小学校などの拠点避難所での配備を基本に進めており、公民館など災害時に地域住民が一時的に滞在する指定避難場所での備蓄については、地域として必要な物があれば、自主防災組織防災資機材整備補助をご活用いただければと思います。</p>		
担当課	教育委員会 こども未来局 危機管理課	生涯学習課 子育て支援課	電話 220-2441 電話 220-2285 電話 220-2366

地域課題 3

町会連合会名	森 山 校 下 町 会 連 合 会
地域課題	卯辰山麓寺院群へのアクセス道路について
現状と課題	<p>令和6年能登半島地震において、卯辰山麓寺院群にも大きな被害が出ました。なかでも寺院の塀が道路上に倒れるなど、避難路となるべき道が塞がれる事態となりました。この地区は寺院が密集しており、火災時の避難、消火活動にも苦勞する場所です。大通りからのアクセスは軽自動車でも侵入に苦勞する道が多くあり、以前から懸案となっている。</p>
地域が考える 対応策・解決策 ／協議したい事項	<p>今回、空き家の土地を道路に拡幅できないかとの提案が地域の方からあるなど、そういった機会に一本でも大通りから容易にアクセスが出来るように整備を進められないかと考えている。</p>

市の方針等説明書（地域課題 3）

地域課題	卯辰山麓寺院群へのアクセス道路について			
協議事項	<p>今回、空き家の土地を道路に拡張できないかとの提案が地域の方からあるなど、そういった機会に一本でも大通りから容易にアクセスが出来るように整備を進められないかと考えている。</p>			
市の方針等	<p>本市では、幅員の狭い道路の拡張や隅切りのない交差点の整備にあたり、道路特性を調査したうえで、拡張に必要な用地の提供をいただき、道路拡張に取り組んでいます。</p> <p>そのほか、防災まちづくりの一環として、地域住民と市が協定を締結し、それぞれの役割を定めるとともに、道路拡張や防災広場の整備を進めており、当校下においても防災まちづくり協定締結の実績があります。</p> <p>協定締結にあたっては、地震・火災時における避難路の確保や消防活動の困難性及び延焼の危険性の観点から、特別消防対策区域など危険度の高い地域を優先して協議し、狭隘道路の拡張などを行っています。</p> <p>しかしながら、卯辰山麓寺院群は、伝統的建造物群保存地区に指定されているため、建築物や土塀等の現状を変更する行為は規制の対象となり、建築物等の除却などについても規制対象となる可能性があります。そのため、どのような対応が可能であるか、具体的な場所に応じて、相談させて頂きたいと考えております。</p>			
担当課	土木局	道路管理課	電話	220-2321
	都市整備局	市街地再生課	電話	220-2675
	文化スポーツ局	歴史都市推進課	電話	220-2208

地域課題 4

町会連合会名	小坂校下町会連合会
地域課題	小坂校下の防災対策とまちづくりについて
現状と課題	<p>小坂校下には一般住宅地と丘陵地があり、その境界に森本・富樫断層があります。平野部の住宅地は蓮田や水田を埋め立てた所が多く軟弱地盤であり、金腐川や柳橋川も流れ、一部天井川となっている。</p> <p>昨年の能登半島地震の際にも神谷内葵地内で、地盤の「ずれ」から家屋の倒壊、また平野部では液状化による道路の損壊や家屋の損壊が多く見られました。</p>
地域が考える 対応策・解決策 ／協議したい事項	<p>地震など自然災害に対する完全な解決策は無いと思いますが、このような地域において、安全で安心な暮らしを守るため、どのように考えておられるのか、市の方針をお聞かせ願いたいと思います。</p>

市の方針等説明書（地域課題 4）

地域課題	小坂校下の防災対策とまちづくりについて
協議事項	地震など自然災害に対する完全な解決策は無いと思うが、この様な地域において、安全で安心な暮らしを守るため、どのように考えているのか、市の方針を聞く。
市の方針等	<p>本市では、能登半島地震を教訓に、既に、地域防災計画の1次改定を行い、避難所の環境改善などに取り組んでいるところです。また、5月に公表された石川県の地震被害想定調査結果では、森本・富樫断層帯で最大震度7の地震が発生した場合、本市において建物被害が6万棟に及ぶなど、甚大な被害を受けることが想定されており、今年度中に、避難所のあり方や孤立集落対策、帰宅困難者対策、備蓄品目及び数量の見直しなどについても検討し、第2次地域防災計画の概要を取りまとめ、明年5月の防災会議で改定することとしています。</p> <p>加えて、能登半島地震の際に広範囲で宅地被害が発生した盛土造成地の神谷内町葵地内では、昨年度実施した地盤調査により、大量の地下水が確認されたことから、地下水排除工法により、地盤の安全対策を講じていくこととしており、明年度の対策工事の着手に向け、現在、実施設計を行っています。</p> <p>一方で、災害時の被害を軽減し、地域防災力を向上させるためには、公助だけではなく、自助・共助の備えも重要であり、地域の特性や実情を踏まえた地区防災計画の策定・見直しに加え、建物の耐震化、家具の固定、家庭内備蓄の推進など予防対策・減災対策についても地域とともに進めていく必要があると考えています。</p> <p>さらに、かなざわ学生防災フォーラムを開催するとともに、学生等と連携した地域防災活動に対する支援制度を創設するなど、学生の防災知識と共助意識の向上を図ります。また、防災士育成講座の助成対象に企業枠を新設し、企業防災士の育成を促す取組も進めることとしており、こうした制度もご活用いただき、災害に強いまちづくりに努めていただければと思います。</p>
担当課	危機管理課 電話 220-2366

地域課題 5

町会連合会名	千坂校下町会連合会
地域課題	地域団体と公民館について
現状と課題	<p>千坂校下には16の諸団体があるが、町会連合会をはじめ多くの団体は公民館を利用し活動を行っている。</p> <p>同施設は利用が重複するなど、利便性に課題があることから、自由に利用できる活動拠点が求められている。</p> <p>公民館職員が市役所各部門から依頼の事務処理や町連に関する作業を行っているが、その人件費は市からの指定管理料からの拠出であり、町連、市各部門からの作業依頼については所管外であると認識が存在する。</p>
地域が考える 対応策・解決策 ／協議したい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域団体が利用できるスペースの確保。 公民館も含め各地域団体の行事等でも使用可とする。 ・公民館職員の人件費の負担について、市はどのような考えか

市の方針等説明書（地域課題 5）

地域課題	地域団体と公民館について		
協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館も含め、校下内の各地域団体が行事、打合せ等で利便性良く活用できる施設・スペースの確保 ・ 公民館職員の人件費の負担について、市の考えは 		
市の方針等	<p>1. 千坂校下においては、平成29年に「千坂校下コミュニティ協議会」を組織されるなど先駆的な取組を進められ、以来、地域の有機的な連携及び行政と双方向の協働によって、校下における共通の課題解決をはじめ、住みよい地域社会の構築を担ってこられたと承知しています。</p> <p>各団体が融和のもと地域運営にご尽力いただくうえで、必要となる施設、スペース等については、地区公民館をはじめ各町会会館など、地域内に存するものを互いに融通し、柔軟かつ効率的に活用いただきたいと考えています。</p> <p>町会施設の整備においては、例えば、会館の建替え等の際に、複数町会による共有とし、各地域団体が活用できるスペースも有するような、一定規模の整備を検討するなど、市としてもご相談にのってまいりたい。</p> <p>2. 地区公民館は、地域住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する事業を行う社会教育法に基づく社会教育施設です。</p> <p>そうした地区公民館の運営に必要な職員として、館長、主事及び主事補を配置しており、公民館職員の人件費等の運営費については、金沢方式に基づき、その一部を地元負担していただいているものです。</p> <p>本市の地区公民館は、社会教育施設としての機能のほか、地域コミュニティの中心として、地域の自主性や連帯意識の醸成に大きな役割を果たしています。地域の考え方はそれぞれあるかと思われませんが、地区公民館と町会連合会が相互に連携しながら地域活動に取り組んでいくことが、地域にとって大切なことだと思っています。</p>		
担当課	市民局 教育委員会	市民協働推進課 生涯学習課	電話 220-2026 電話 220-2441

地域課題 6

町会連合会名	夕日寺校下町会連合会
地域課題	用途地域の変更について
現状と課題	<p>夕日寺校下は「第1種低層住居専用地域」(御所1丁目・御所2丁目、高田団地、東長江団地、山王1丁目・2丁目、東長江の一部)に指定されております。この用途地域の指定により、住宅地としての良好な環境が守られておりますが、地域住民の生活適合性や地域の将来に課題もあると感じております。</p> <p>県道沿いで店舗を営業したい、地元で事務所や工場を構えて事業をしたい、あるいは飲食店を開きたいという要望があります。</p> <p>特にコンビニエンスストアや小規模商業施設がないため、日々の買物や緊急時の生活必需品の調達が不便な状況です。</p> <p>地域の高齢化が進む中、基本的な生活物資を購入できる施設の不足は、住民の生活に大きな負担となっております。</p>
地域が考える 対応策・解決策 ／協議したい事項	<p>里地として自然環境に恵まれ、ずっと住み続けられる地域として魅力を高めるためにも、第1種中高層住居専用地域や第1種住居専用地域のように県道沿いに小規模商業施設や事務所、飲食店が可能となるよう用途地域への変更を要望いたします。</p>

市の方針等説明書（地域課題 6）

地域課題	用途地域の変更について
協議事項	県道沿いに小規模商業施設や事務所、飲食店が可能となるよう用途地域の変更を要望します。
市の方針等	<p>当該地域は、昭和45年に本市の都市計画区域を市街化区域と市街化調整区域に区分した、いわゆる当初線引き以降、学校施設敷地や第一種住居地域に指定された東長江町の一部を除き、土地区画整理事業等による住宅地開発に伴って、豊かな自然環境を保全しながら、低層住宅を中心とする落ち着いたきのある住環境を維持する区域としての土地利用が図られてきました。</p> <p>また地域内では、一般県道清水・小坂線の機能強化や山側幹線へのアクセス向上を目的とする都市計画道路春日東長江線が、昭和60年に都市計画決定されていますが、県による事業化には至っていない状況です。</p> <p>そのため、ご要望の、県道沿いに小規模商業施設などの立地を進めるための用途地域の変更については、将来の道路整備による現県道の交通流の変化が、新たに立地する施設に及ぼす影響や道路整備そのものへの影響などを勘案し、慎重に検討する必要があると考えており、市としては、引き続き、県の道路整備の進捗を確認するとともに、地域の皆様のご意見も伺いながら検討していきたいと考えています。</p> <p>そのような中で、コンビニエンスストアについては、建築基準法に基づき、良好な住環境を確保するための規制が行われていますが、平成28年に国の規制改革実施計画に則り、低層住宅に係る良好な住居の環境を害しない場合には、地域の実情やニーズに応じて、第一種低層住居専用地域における立地を許容できるかを総合的に判断するよう、国土交通省から技術的助言が発出されています。</p> <p>技術的助言によれば、地域住民の日常的な生活圏域を考慮しながら、立地を計画する土地の環境との整合性、騒音・臭気・景観への配慮、交通安全対策など、一定の要件を満たせば、許可できる場合もあることから、今後、具体的な案件があれば、事業者や地域の皆様と協議していきたいと考えています。</p>
担当課	都市整備局 都市計画課 電話 220-2351

共通課題

共通課題	城北地区に大型複合施設（図書館）の建設を
現状と課題	<p>城北地区には、現在、磯部町地内に金沢城北市民運動公園として、市民野球場、金沢プール、市民サッカー場やスポーツ交流広場、屋内交流広場、また多目的芝生広場などスポーツを中心した施設が整備されており、十分楽しく観戦、利用させて頂いている。</p> <p>しかし、東部には県立図書館、西部には海みらい図書館、南部には泉野図書館、中心部には玉川図書館やこども図書館などが整備されているなか、城北地区にはそういった図書館など文化施設がなく、住む者として必要なとき、手軽に利用することが難しい。</p>
地域が考える 対応策・解決策 ／協議したい事項	<p>城北地区にも是非図書館など複合文化施設建設の考えはないでしょうか。地域として、現在や、近い将来見込まれる候補地はあると考えているが、是非検討して頂けないでしょうか。</p>

市の方針等説明書（共通課題）

地域課題	城北地区に大型複合施設（図書館）の建設を
協議事項	城北地区にも是非図書館など複合文化施設建設の考えはないでしょうか。地域として、現在や、近い将来見込まれる候補地はあると考えているが、是非検討して頂けないでしょうか。
市の方針等	<p>本市では、4つの拠点図書館と、1つの分館を有しているほか、令和4年7月には、新しい県立図書館が開館しています。</p> <p>加えて、人口減少社会が進展しています。また、老朽化に伴う建物・設備等の大規模修繕や既存施設の再編など、公共施設の再整備が本格化してくることから、そうした中で、新たな大型複合施設の建設については、慎重にならざるをえないと考えています。</p> <p>現在、市内で公共施設の建替に関するプロジェクトがいくつか進んでいます。施設の再整備・再編に併せて、どのような機能が新たに必要なのか、市による検討の状況に応じて、地域の皆さまの意見もお聞きしているところです。</p> <p>まずは、皆さまの思いを共有させて頂いて、今後、具体の事案に併せて、どのようなことができるのか考えていきたい。</p>
担当課	都市政策局 企画調整課 電話 220-2031